

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-293883

(43) 公開日 平成8年(1996)11月5日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

H 0 4 L 12/54  
12/58

識別記号

庁内整理番号

9466-5K

F I

H 0 4 L 11/20

技術表示箇所

1 0 1 C

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平7-99258

(22) 出願日 平成7年(1995)4月25日

(71) 出願人 000001937

日本電気ホームエレクトロニクス株式会社  
大阪府大阪市中央区城見一丁目4番24号

(72) 発明者 飯田 泰弘

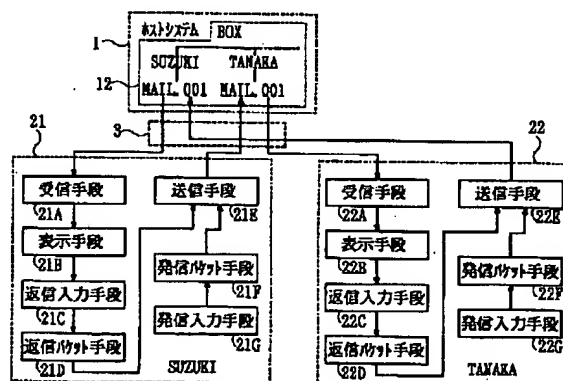
大阪府大阪市中央区城見一丁目4番24号  
日本電気ホームエレクトロニクス株式会社  
内

(54) 【発明の名称】 電子メール装置

(57) 【要約】

【目的】 匿名でメールを送信できる電子メール装置を提供。

【構成】 差出人が発信入力手段21Gによってメールを作成し、この時にメールを匿名で送信したい場合は、匿名フラグを入力し、発信ポケット手段21Fで送信ポケットに変換され、送信手段21Eによってボックス12の当該宛先ディレクトリに送信され、受信者が受信手段22Aによって受信ポケットを取得し、その後に表示手段22Bによって受信表示画面に「匿名」の差出人を表示する。一方、受信者が匿名のメールに対して返信する場合は、返信入力手段22Cで受信表示画面の差出人「匿名」を返信入力画面の宛先に複写し、その後返信発信ポケット手段22Dで受信ポケットの差出人エリアのデータを返信ポケットの宛先エリアへ複写し、さらに送信処理によって当該宛先ディレクトリに返信されて匿名のメールに対しても返信する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークを介してホストシステムから送信された宛先データ及び差出人データをヘッダとするメッセージデータの packets を受信する受信手段と、この受信手段で受信された packets を表示する表示手段と、この表示手段で表示された packets に基づき、返信するメッセージデータを予め設定されたパラメータによる匿名の差出人データで選択して入力する返信入力手段と、この返信入力手段で入力されたメッセージデータを返信 packets として生成する返信 packets 手段と、上記ネットワークを介してホストシステムに発信するメッセージデータを予め設定されたパラメータによる匿名の差出人データで選択して入力する発信入力手段と、この発信入力手段で入力されたメッセージデータを発信 packets として生成する発信 packets 手段と、この発信 packets 手段及び上記返信 packets 手段で生成された発信 packets 及び返信 packets を、上記ネットワークを介して送信する送信手段とで構成され、上記返信入力手段及び発信入力手段で匿名の差出人データが入力された時のみ、上記表示手段に匿名の差出人データでメッセージを表示することを特徴とする電子メール装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、電子メール装置に係り、特に、匿名でメールを送信する電子メール装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来（図示せず）の電子メール装置は、メールの発信者の名前（差出人：メールアドレス）をメールの受信者に対して常に表示していたため、メールを使った無記名の投票などに利用する場合、匿名でメールを送信することができなかった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来の電子メール装置では、差出人の名前を常にメール受信者に開示しており、メールを使った無記名の投票などに利用する場合、匿名でメールを送信することができないという課題があった。

【0004】 そこで、本発明の目的は、匿名でメールを送信できる電子メール装置を提供することにある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 上述の課題を解決するために、本発明の電子メール装置は、ネットワークを介してホストシステムから送信された宛先データ及び差出人データをヘッダとするメッセージデータの packets を受信する受信手段と、この受信手段で受信された packets を表示する表示手段と、この表示手段で表示された packets に基づき、返信するメッセージデータを予め設定されたパラメータによる匿名の差出人データで選択して入力する返信入力手段と、この返信入力手段で入力された

メッセージデータを返信 packets として生成する返信 packets 手段と、上記ネットワークを介してホストシステムに発信するメッセージデータを予め設定されたパラメータによる匿名の差出人データで選択して入力する発信入力手段と、この発信入力手段で入力されたメッセージデータを発信 packets として生成する発信 packets 手段と、この発信 packets 手段及び上記返信 packets 手段で生成された発信 packets 及び返信 packets を、上記ネットワークを介して送信する送信手段とで構成され、上記返信入力手段及び発信入力手段で匿名の差出人データが入力された時のみ、上記表示手段に匿名の差出人データでメッセージを表示することを特徴とする。

## 【0006】

【実施例】 次に、本発明の一実施例による電子メール装置を図面を参照して説明する。

【0007】 図1は、本発明の一実施例による電子メール装置のブロック構成図である。

【0008】 図2は、本発明の一実施例による電子メール装置の発信入力処理図（A）、発信 packets 作成処理図（B）である。

【0009】 図3は、本発明の一実施例による電子メール装置の送信処理図（A）、受信処理図（B）である。

【0010】 図4は、本発明の一実施例による電子メール装置の表示画面作成処理図である。

【0011】 図5は、本発明の一実施例による電子メール装置の返信入力処理図（A）、返信 packets 作成処理図（B）である。

【0012】 図6は、本発明の一実施例による電子メール装置の発信 packets 例（A）、受信 packets 例（B）、返信 packets 例（C）である。

【0013】 図7は、本発明の一実施例による電子メール装置の発信入力画面（A）、受信表示画面（B）、返信入力画面（C）である。

【0014】 本発明の一実施例による電子メール装置21、22は、図1に示すように、ネットワーク3を介してホストシステム1から送信された宛先データ及び差出人データをヘッダとするメッセージデータの packets を受信する受信手段21A、22Aと、この受信手段21A、22Aで受信された packets を表示する表示手段21B、22Bと、この表示手段21B、22Bで表示された packets に基づき、返信するメッセージデータを予め設定されたパラメータによる匿名の差出人データで選択して入力する返信入力手段21C、22Cと、この返信入力手段21C、22Cで入力されたメッセージデータを返信 packets として生成する返信 packets 手段21D、22Dと、ネットワーク3を介してホストシステム1に発信するメッセージデータを予め設定されたパラメータによる匿名の差出人データで選択して入力する発信入力手段21G、22Gと、この発信入力手段21G、22Gで入力されたメッセージデータを発信 packets と

3

して生成する発信 packets 手段 21F, 22F と、この発信 packets 手段 21F, 22F 及び返信 packets 手段 21D, 22D で生成された発信 packets 及び返信 packets を、ネットワーク 3 を介して送信する送信手段 21E, 22E とで構成される。

【0015】本発明の一実施例による電子メール装置 21, 22 は、図 1 に示すように、メールの差出人が発信入力手段 21G によってメールを作成し、図 2 の (A) の発信入力処理を行い、差出人が図 7 の (A) に示される発信入力画面を入力インターフェースとし、図 2 の (A) に示す発信入力処理に従って入力を行ない、この時に差出人がメールを匿名で送信したい場合、匿名で送信することを表す値（ここでは値=1）匿名フラグデータ（1203）を入力する。

【0016】この作成されたメールは、発信 packets 手段 21F（図 2 の (B)）によって、送信 packets（図 6 の (A)）に変換され、送信手段 21E（図 3 の (A)）によってボックス 12 の当該宛先ディレクトリに送信され、この例では図 6 の (A) の送信 packets を宛先である「TANAKA」のディレクトリに「MAIL.001」の名前で送信している。

【0017】一方、メールの受信者は自分のディレクトリから受信手段 22A（図 3 の (B)）によって受信 packets（図 6 の (B)）を取得し、その後に表示手段 22B（図 4）によって受信表示画面（図 7 の (B)）を作成する際に受信 packets（図 6 の (B)）の匿名フラグエリア（1003）が匿名を表す値（値=1）であれば、受信表示画面（図 7 の (B)）の差出人データ（1302）「匿名」を表示する（602, 604）。

【0018】他方、受信者が匿名のメールに対して返信する場合は、返信入力手段 22C（図 5 の (A)）において受信表示画面（図 7 の (B)）の差出人データ（1302）の「匿名」を返信入力画面（図 7 の (C)）の宛先データ（1401）に複写し（701）、その後返信 packets 手段 22D（図 5 の (B)）において宛先データ（1401）が「匿名」であれば、受信 packets（図 6 の (B)）の差出人エリア（1002）のデータを返信 packets（図 6 の (C)）の宛先エリア（110

4

1）へ複写し（801, 803）、さらに送信処理によって当該宛先ディレクトリに返信され、これによって匿名のメールに対しても返信することが可能となる。

【0019】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の電子メール装置によれば、差出人側でメール受信者に匿名の差出人名を表示する匿名送信設定ができ、かつメールを利用した無記名投票などに応用できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

10 【図 1】本発明の一実施例による電子メール装置のブロック構成図である。

【図 2】本発明の一実施例による電子メール装置の発信入力処理図 (A)、発信 packets 作成処理図 (B) である。

【図 3】本発明の一実施例による電子メール装置の送信処理図 (A)、受信処理図 (B) である。

【図 4】本発明の一実施例による電子メール装置の表示画面作成処理図である。

20 【図 5】本発明の一実施例による電子メール装置の返信入力処理図 (A)、返信 packets 作成処理図 (B) である。

【図 6】本発明の一実施例による電子メール装置の発信 packets 例 (A)、受信 packets 例 (B)、返信 packets 例 (C) である。

【図 7】本発明の一実施例による電子メール装置の発信入力画面 (A)、受信表示画面 (B)、返信入力画面 (C) である。

【符号の説明】

1 ホストシステム

3 ネットワーク

21, 22 電子メール装置

21A, 22A 受信手段

21B, 22B 表示手段

21C, 22C 返信入力手段

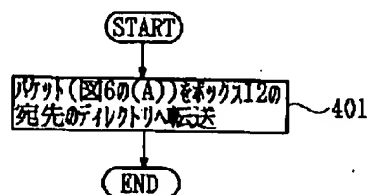
21D, 22D 返信 packets 手段

21E, 22E 送信手段

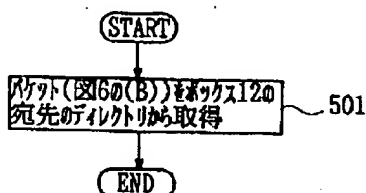
21F, 22F 発信 packets 手段

21G, 22G 発信入力手段

【図 3】

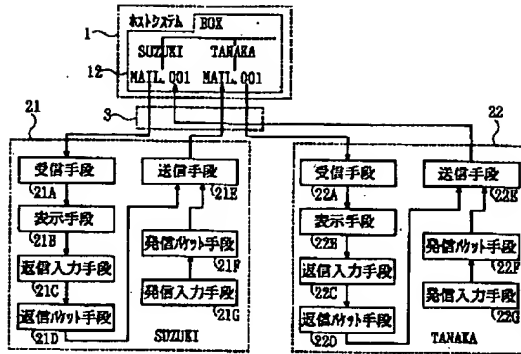


(A)

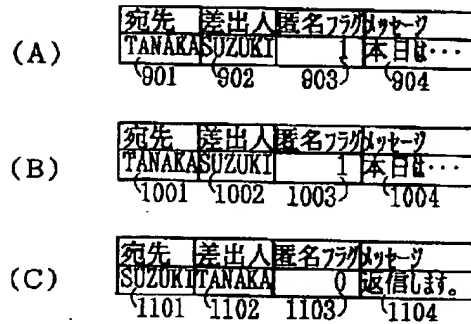


(B)

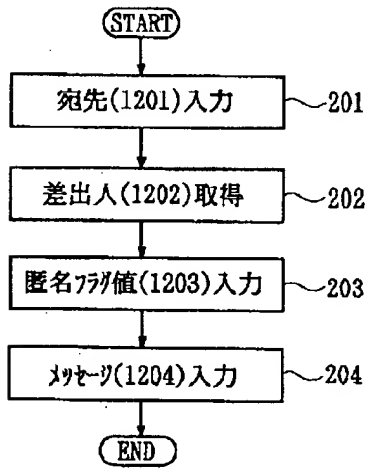
【図1】



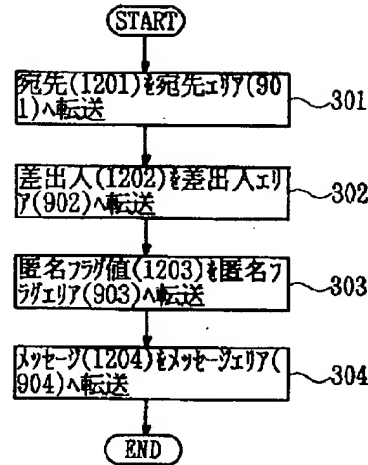
【図6】



【図2】



(A)



(B)

【図7】

|       |        |      |
|-------|--------|------|
| 宛先    | TANAKA | 1201 |
| 差出人   | SUZUKI | 1202 |
| 匿名フラグ | 1      | 1203 |
| メッセージ | 本日は... | 1204 |

(A)

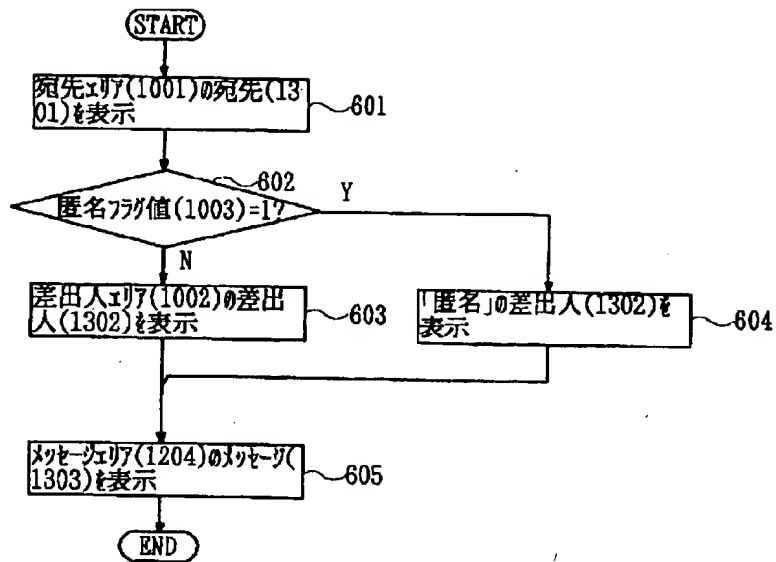
|       |        |      |
|-------|--------|------|
| 宛先    | TANAKA | 1301 |
| 差出人   | 匿名     | 1302 |
| メッセージ | 本日は... | 1303 |

(B)

|       |        |      |
|-------|--------|------|
| 宛先    | 匿名     | 1401 |
| 差出人   | TANAKA | 1402 |
| 匿名フラグ | 0      | 1403 |
| メッセージ | 返信し封。  | 1404 |

(C)

【図4】



【図5】

